



電話回線の追加と更新

特定のデバイス グループまたは特定のユーザ デバイス プロファイル グループ用の回線アトリビュートを更新するには、Update Lines オプションを使用します。クエリー結果に電話機用の回線とユーザ デバイス プロファイル用の回線の両方が含まれている場合は、両回線が同時に更新されます。



(注)

電話機が Cisco CallManager データベースから削除された場合、電話番号はデータベース内に残っています。これらの孤立した電話番号を管理するには、Update Lines オプションを使用して割り当てられていない電話番号を検索し、これらの電話番号を削除または更新することができます。

Cisco CallManager データベース内の既存の電話機のグループまたはユーザ デバイス プロファイルのグループに回線を追加することができます。テンプレートを使用して新しい回線を追加すると、電話サービスまたは短縮ダイヤルを変更することはできません。既存の電話機に回線を追加する場合、Cisco CallManager Bulk Administration (BAT) ではテンプレートのこれらのフィールドが無視されます。

回線のアトリビュートを更新し、回線を追加し、既存の電話機またはユーザ デバイス プロファイルに回線を追加する手順は、次のとおりです。

- [クエリーを使用した回線の更新 \(P.10-2\)](#)
- [既存の電話機および UDP への回線の追加 \(P.10-10\)](#)
- [BAT スプレッドシートを使用した既存の電話機への回線の追加 \(P.10-11\)](#)

クエリーを使用した回線の更新

回線を更新する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 **Bulk Administration > Phones > Add/Update Lines > Update Lines** の順に選択するか、**Bulk Administration > User Device Profiles > Add/Update Lines > Update Lines** の順に選択します。

Update Lines Query ウィンドウが表示されます。



(注) クエリーを指定しなければ、すべての回線を更新できます。P.10-4 の「回線を更新する場合のフィールドの説明」に進みます。

ステップ 2 最初の Find Line where ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索基準を選択します。

- Directory Number
- Route Pattern
- Line Description
- Calling Search Space (Phone)
- Calling Search Space (Line)
- Device Pool
- Device Description
- Line Position
- Unassigned DN
- Call Pickup Group



(注) 孤立した電話番号を検索して削除するには、「unassigned DN」を使用します。

2 番目の Find Line where ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索基準を選択します。

- begins with
- contains
- is exactly
- ends with
- is empty
- is not empty

ステップ 3 検索フィールド リスト ボックスで、検索する値を選択するか、入力します。たとえば、リストから Line Partition を選択するか、電話番号の範囲を入力します。



ヒント データベースに登録されているすべての回線を検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

ステップ 4 クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、Search Within Results チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから **AND** または **OR** を選択して、ステップ 2 ～ 3 を繰り返します。

ステップ 5 **Find** をクリックして、検索対象のレコードを表示します。

検索された回線のリストが、次の項目別に表示されます。

- Pattern/Directory Number
- Partition
- Description

ステップ 6 **Next** をクリックします。最上部で選択したクエリーのタイプが、Update Lines ウィンドウに表示されます。クエリーのタイプを変更する場合は、**Back** をクリックします。

ステップ 7 クエリーで定義したすべてのレコードに対して、更新する設定値を指定します。更新するパラメータは複数選択できます。パラメータの説明については、P.10-4 の「回線を更新する場合のフィールドの説明」を参照してください。

ステップ 8 チェックマークが付いたパラメータの Value フィールドに新しい値を入力するか、リスト ボックスから値を選択します。

ステップ 9 Job Information 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 10 Run Immediately オプション ボタンをクリックして回線を即座に挿入するか、Run Later をクリックして後で挿入します。

ステップ 11 **Submit** をクリックして、電話機レコードを挿入するジョブを作成します。

ステップ 12 Job Configuration ウィンドウで、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、第 51 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、P.54-4 の「BAT ログ ファイル」を参照してください。

その他の項目

詳細については、P.10-14 の「関連項目」を参照してください。

回線を更新する場合のフィールドの説明

表 10-1 では、回線の詳細を更新する場合のフィールドについて説明します。関連する手順については、P.10-14 の「関連項目」を参照してください。

一部のフィールドに示される値は、Cisco CallManager から表示されます。これらの値は、Cisco CallManager Administration を使用して設定する必要があります。

表 10-1 回線の詳細を更新する場合のフィールドの説明






フィールド	説明
Line Partition	<p>パーティションを選択します。パーティションは、電話番号が属するルートパーティションを指定します。</p> <p> (注) 電話番号は複数のパーティションに現れる可能性があります。</p>
Calling Search Space (Line)	<p>この電話番号から呼び出される番号を検索するパーティションを選択します。</p> <p> (注) このフィールドに変更を加えると、Call Pickup Group フィールドのリストに表示される Pickup Group Names が更新されます。この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Calling Search Space Forward All	<p>コールが指定された宛先に転送されるときに使用するコーリングサーチスペースを選択します。</p> <p> (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Forward All Destination	<p>すべてのコールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の電話番号（制限されていない限り、外部の宛先を含む）、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Forward All to Voice Mail	<p>すべてのコールをボイスメッセージプロファイルで選択した番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、Forward All Destination フィールドと Calling Search Space チェックボックスでの指定内容は無効になります。</p>
Calling Search Space Forward Busy External	<p>外部番号からのコールが指定された宛先に転送されるときに使用するコーリングサーチスペースを選択します。</p> <p> (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>

表 10-1 回線の詳細を更新する場合のフィールドの説明 (続き)






フィールド	説明
Calling Search Space Forward Busy Internal	<p>内部番号からのコールが指定された宛先に転送されるときに使用するコーリングサーチスペースを選択します。</p> <p> (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Forward Busy Destination External	<p>回線が使用中のときに外部番号からのコールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の電話番号 (制限されていない限り、外部の宛先を含む)、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Forward Busy Destination Internal	<p>回線が使用中のときに内部番号からのコールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の電話番号 (制限されていない限り、外部の宛先を含む)、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Forward Busy to Voice Mail External	<p>回線が使用中のときに外部番号からのコールをボイスメッセージプロフィールで選択した番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、Forward Busy Destination フィールドと Calling Search Space チェックボックスでの指定内容は無効になります。</p>
Forward Busy to Voice Mail Internal	<p>回線が使用中のときに内部番号からのコールをボイスメッセージプロフィールで選択した番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、Forward Busy Destination フィールドと Calling Search Space チェックボックスでの指定内容は無効になります。</p>
Calling Search Space Forward No Answer External	<p>外部番号からのコールが指定された宛先に転送されるときに使用するコーリングサーチスペースを選択します。この設定値は、システム内で設定されている場合だけ、表示されます。</p> <p> (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Calling Search Space Forward No Answer Internal	<p>内部番号からのコールが指定された宛先に転送されるときに使用するコーリングサーチスペースを選択します。この設定値は、システム内で設定されている場合だけ、表示されます。</p> <p> (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>

表 10-1 回線の詳細を更新する場合のフィールドの説明 (続き)






フィールド	説明
Forward No Answer Destination External	<p>電話機が応答しない場合に外部番号からのコールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の電話番号 (制限されていない限り、外部の宛先を含む)、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Forward No Answer Destination Internal	<p>電話機が応答しない場合に内部番号からのコールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の電話番号 (制限されていない限り、外部の宛先を含む)、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Forward No Answer to Voice Mail External	<p>応答されない外部番号からのコールをボイス メッセージ プロファイルで選択した番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、Forward No Answer Destination フィールドと Calling Search Space チェックボックスでの指定内容は無効になります。</p>
Forward No Answer to Voice Mail Internal	<p>応答されない内部番号からのコールをボイス メッセージ プロファイルで選択した番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、Forward No Answer Destination フィールドと Calling Search Space チェックボックスでの指定内容は無効になります。</p>
Calling Search Space Forward No Coverage External	<p>外部番号からのコールが指定された宛先に転送されるときに使用するコーリング サーチ スペースを選択します。この設定値は、システム内で設定されている場合だけ、表示されます。</p> <p> (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Calling Search Space Forward No Coverage Internal	<p>内部番号からのコールが指定された宛先に転送されるときに使用するコーリング サーチ スペースを選択します。この設定値は、システム内で設定されている場合だけ、表示されます。</p> <p> (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Forward No Coverage Destination External	<p>電話機のカバレッジが対応しない場合に外部番号からのコールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の電話番号 (制限されていない限り、外部の宛先を含む)、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>

表 10-1 回線の詳細を更新する場合のフィールドの説明 (続き)




フィールド	説明
Forward No Coverage Destination Internal	<p>電話機のカバレッジが対応しない場合に内部番号からのコールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の電話番号 (制限されていない限り、外部の宛先を含む)、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Forward No Coverage to Voice Mail External	<p>電話機のカバレッジが対応しない場合に外部番号からのコールをボイス メッセージ プロファイルで選択した番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、Forward No Answer Destination フィールドと Calling Search Space チェックボックスでの指定内容は無効になります。</p>
Forward No Coverage to Voice Mail Internal	<p>電話機のカバレッジが対応しない場合に内部番号からのコールをボイス メッセージ プロファイルで選択した番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、Forward No Answer Destination フィールドと Calling Search Space チェックボックスでの指定内容は無効になります。</p>
Calling Search Space Forward on Failure External/Internal	<p>(CTI ポートのみ) 内線コールまたは外線コールが指定された宛先に転送されるときに使用するコーリング サーチ スペースを選択します。この設定値は、システム内で設定されている場合だけ、表示されます。</p> <p> (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Forward on Failure Destination External/Internal	<p>(CTI ポートのみ) 電話機または CTI アプリケーションに障害が起きたときに、内部番号または外部番号からのコールが転送される先の電話番号を入力します。</p>
Forward on Failure to Voice Mail External/Internal	<p>(CTI ポートのみ) 外部番号または内部番号からの失敗したコールをボイス メッセージ プロファイルで選択した番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p>
Call Forward No Answer Ring Duration	<p>コールが呼び出し音を送り、応答を待つ秒数 (1 ~ 300) を入力します。この時間内に応答がないと、Forward No Answer Destination フィールドで入力された電話番号にコールを転送します。</p> <p> (注) Cisco CallManager サービス パラメータの Forward No Answer Timer で設定されている値を使用する場合は、このフィールドをブランクのままにします。</p>
User Hold Audio Source	<p>ユーザが Hold ボタンまたはソフトキーを押してコールを保留にしたときに再生される保留オーディオ ソースの音楽を選択します。</p>

表 10-1 回線の詳細を更新する場合のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Network Hold Audio Source	システムがコールを保留にするととき (たとえば、ユーザがコールを転送したときや電話会議またはコール パークを開始したとき) に再生される保留オーディオ ソースの音楽を選択します。
Auto Answer	ここで更新されるすべての回線で自動応答機能を使用する場合は、このパラメータを選択します。自動応答を使用すると、ヘッドセットが使用中であるときに、Cisco CallManager が自動的にコールに応答します。着信コールが接続されていることをユーザに知らせるアラート音 (ジップ トーン) が再生されます。
Voice Mail Profile	パイロット番号をこの回線の電話番号と同じにするには、このパラメータを選択します。このパラメータを選択すると、この電話機に対してボイスメール サーバが設定されていない場合に役立ちます。
Ring Setting When Idle	電話機に着信コールがあった場合の呼び出し音のタイプを選択します。
Ring Setting when Active	この電話機に異なる回線で別のアクティブ コールがあった場合に使用される、着信コールの呼び出し音のタイプを選択します。
Call Pickup Group Name	Pickup Group Name を選択してコール ピックアップ グループを指定します。コール ピックアップ グループでは、該当のピックアップ グループ番号をダイヤルすることにより、この電話番号への着信コールに応答することができます。
AAR Group	このデバイスの自動代替ルーティング (AAR) グループを選択します。AAR グループはプレフィックス番号を提供するものです。プレフィックス番号は、帯域幅不足のために本来ならブロックされるコールをルーティングするために使用します。 AAR Group を <None> に設定すると、ブロックされたコールの再ルーティングは行われません。
Target (Destination) MLPP	この電話番号が優先コールを受信したが、その番号もそのコール転送先もその優先コールに応答しない場合に、MLPP 優先コールが向けられる先の番号を入力します。 値は数字、シャープ (#)、およびアスタリスク (*) を含めることができます。
MLPP Calling Search Space	ドロップダウン リスト ボックスから、代替パーティ ターゲット (宛先) 番号に関連付けるコーリング サーチ スペースを選択します。
MLPP No Answer Ring Duration	優先コールに対してこの電話番号とそのコール転送先が応答するのを待つ時間 (4 ~ 30 秒) を入力します。この時間内に応答がないと、MLPP 優先コールはこの電話番号の代替パーティに向けて送られます。 Cisco CallManager エンタープライズ パラメータの Precedence Alternate Party Timeout で設定されている値を使用する場合は、この設定をブランクのままにします。

表 10-1 回線の詳細を更新する場合のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
External Phone Number Mask	<p>この回線からコールを行うときに発信者 ID 用には送信される電話番号 (またはマスク) を入力します。</p> <p>最大 30 桁の数字と「X」文字が入力できます。X は電話番号を表し、パターンの最後に表示する必要があります。たとえば、972813XXXX というマスクを指定すると、内線 1234 からの外線コールには発信者 ID 番号 9728131234 が表示されます。</p>
Maximum Number of Calls	<p>クラスタ内のデバイスの 1 つの回線に対して最大 184 のコールを設定できます。ただし、デバイスが制限要因となります。1 つの回線に対してコールの数を設定すると、別の回線に使用可能なコールが減少します。</p> <p>デフォルトは 4 です。電話機が回線ごとの複数コールを許可していない場合、デフォルトは 2 です。</p> <p>CTI ルート ポイントに対しては、各ポートに対して最大 10,000 のコールを設定できます。デフォルトは 5000 コールです。</p> <p>このフィールドは Busy Trigger フィールドと併せて使用します。</p>
Busy Trigger	<p>この設定は、Maximum Number of Calls および Call Forward Busy と連動し、回線で表示されるコールの最大数を決定します。Maximum Number of Calls が 50 に設定され、Busy Trigger が 40 に設定されている場合、着信コール 41 は話し中を理由として拒否されます (さらに Call Forward Busy が設定されている場合は転送されます)。この回線が共有されている場合は、すべての回線が話し中になって、初めて着信コールが拒否されます。</p> <p>このフィールドは、CTI ルート ポイント用の Maximum Number of Calls と併せて使用します。デフォルトは 4500 コールです。</p>



(注)

手順を完了するには、P.10-2 の「クエリーを使用した回線の更新」に進みます。

既存の電話機および UDP への回線の追加

既存の電話機および UDP に回線を追加する手順は、次のとおりです。

始める前に

- このトランザクションには BAT テンプレートが必要です。詳細については、[P.3-5 の「BAT テンプレートにおける回線の追加または更新」](#)を参照してください。
- このトランザクションには CSV データ ファイルが必要です。詳細については、[P.10-11 の「BAT スプレッドシートを使用した既存の電話機への回線の追加」](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 **Bulk Administration > Phones > Add/Update Lines > Add Lines** の順に選択します。

Phone Add Lines ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 File Name フィールドで、このバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。

ステップ 3 テンプレート内にある既存の電話機の設定値を変更する場合は、**Override the existing configuration** チェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにすると、ユーザ電話機情報も更新されます。

ステップ 4 Select Templates 領域で、次のオプションのいずれかを選択します。

- 電話機に回線を追加するには、**Phone Template** を選択します。
Template Name フィールドで、このバルク トランザクションに使用する BAT 電話機テンプレートを
選択します。

ステップ 5 Job Information 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 6 Run Immediately オプション ボタンをクリックして電話機レコードを即座に挿入するか、Run Later をクリックして電話機レコードを後で挿入します。

ステップ 7 **Submit** をクリックして、既存の電話機および UDP に回線を追加するジョブを作成します。

ステップ 8 Job Configuration ウィンドウで、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 51 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.54-4 の「BAT ログ ファイル」](#)を参照してください。

その他の項目

詳細については、[P.10-14 の「関連項目」](#)を参照してください。

BAT スプレッドシートを使用した既存の電話機への回線の追加

既存の電話機に回線を追加するための BAT スプレッドシートを使用して CSV データ ファイルを作成する手順は、次のとおりです。

BAT スプレッドシートのインストールおよび使用方法の詳細については、[P.1-9 の「BAT スプレッドシートをデータ収集に使用する方法」](#)を参照してください。

手順

- ステップ 1** **BAT.xlt** ファイルを見つけ、ダブルクリックして、BAT スプレッドシートを開きます。ファイルのアップロードとダウンロードの詳細については、[第 2 章「ファイルのアップロードとダウンロード」](#)を参照してください。
- ステップ 2** プロンプトが表示されたら、**Enable Macros** ボタンをクリックして、スプレッドシート機能を使用します。
- ステップ 3** フィールドを表示するには、スプレッドシートの下部にある **Add Lines** タブをクリックします。
- ステップ 4** スプレッドシートで回線ごとに個々の電話機のデータを入力します。すべての必須フィールド、および該当するオプションフィールドに値を入力します。各カラムの見出しは、フィールドの長さ、およびそのフィールドが必須かオプションかを指定しています。[表 10-2](#) では、BAT スプレッドシートで回線を追加する場合のフィールドを説明しています。
- ステップ 5** **Export to BAT Format** をクリックして BAT Excel スプレッドシートから CSV 形式のデータ ファイルにデータを転送します。

このファイルは C:\XLSDataFiles\ に保存されます。あるいは **Browse** を使用してローカル ワークステーション上の別の既存フォルダに保存することもできます。ファイル名は次のとおりです。

```
<tabname>-<timestamp>.txt
```

ここで、<tabname> は、作成した入力ファイルのタイプ（たとえば、phones）を表し、<timestamp> は、ファイルが作成された正確な日時を表します。



(注) いずれかのフィールドにカンマを入力した場合、BAT.xlt を使用して BAT 形式にエクスポートするときに、そのフィールド エントリは二重引用符で囲まれます。

スプレッドシートに空白行を入力すると、その空の行はファイルの終わりとして扱われます。空白行の後に入力されているデータは BAT 形式に変換されません。

ファイルを Cisco CallManager サーバにアップロードします。詳細については、[P.2-5 の「ファイルのアップロード」](#)を参照してください。



(注) エクスポートされた CSV データ ファイルを読み取る方法については、BAT 内の Insert Phones ウィンドウで **View Sample File** へのリンクをクリックしてください。

その他の項目

詳細については、[P.10-14 の「関連項目」](#)を参照してください。

BAT スプレッドシートを使用して回線を追加する場合のフィールドの説明

表 10-2 では、BAT スプレッドシートを使用して回線を追加する場合のフィールドについて説明します。関連する手順については、P.10-14 の「関連項目」を参照してください。

表 10-2 BAT スプレッドシートを使用して回線を追加する場合のフィールドの説明










フィールド	説明
MAC Address	電話機、VGC Virtual Phone、VGC Phone の MAC アドレスを入力します。CTI ポートおよび H.323 クライアントの固有の ID を入力します。
Line Index	電話機の回線インデックスに 1 ～ 34 までの数字を入力します。
Directory Number	この回線の電話番号を、24 桁以下の数字と特殊文字で入力します。
Display	<p>コールの着信側の電話機ディスプレイに表示するテキストを入力します（たとえば、John Smith などのユーザ名や Conference Room 1 などの電話機の設置場所など）。</p> <p> (注) このフィールドを空白にしておくと、Directory Number フィールドに入力された値が使用されます。</p> <p> (注) デフォルトの言語は英語です。</p>
Line Text Label	<p>回線と電話機の組み合わせに使用されているこの電話番号を識別するためのテキストを入力します。</p> <p> (注) デフォルトの言語は英語です。</p>
Forward Busy External	<p>回線が使用中のときに外部番号からのコールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の電話番号（制限されていない限り、外部の宛先を含む）、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Forward No Answer External	<p>電話機が応答しない場合に外部番号からのコールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の電話番号（制限されていない限り、外部の宛先を含む）、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Forward No Coverage External	<p>電話機のカバレッジが対応しない場合に外部番号からのコールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の電話番号（制限されていない限り、外部の宛先を含む）、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>

表 10-2 BAT スプレッドシートを使用して回線を追加する場合のフィールドの説明

フィールド	説明
Forward Busy Internal	<p>回線が使用中のときに内部番号からのコールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の電話番号（制限されていない限り、外部の宛先を含む）、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Forward No Answer Internal	<p>電話機が応答しない場合に内部番号からのコールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の電話番号（制限されていない限り、外部の宛先を含む）、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Forward No Coverage Internal	<p>電話機のカバレッジが対応しない場合に内部番号からのコールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の電話番号（制限されていない限り、外部の宛先を含む）、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
Call Pickup Group	<p>Pickup Group Name を入力してコール ピックアップ グループを指定します。コール ピックアップ グループでは、該当のピックアップ グループ番号をダイヤルすることにより、この回線への着信コールに応答することができます。</p>

関連項目

- [クエリーを使用した回線の更新 \(P.10-2\)](#)
- [既存の電話機および UDP への回線の追加 \(P.10-10\)](#)
- [BAT スプレッドシートを使用した既存の電話機への回線の追加 \(P.10-11\)](#)